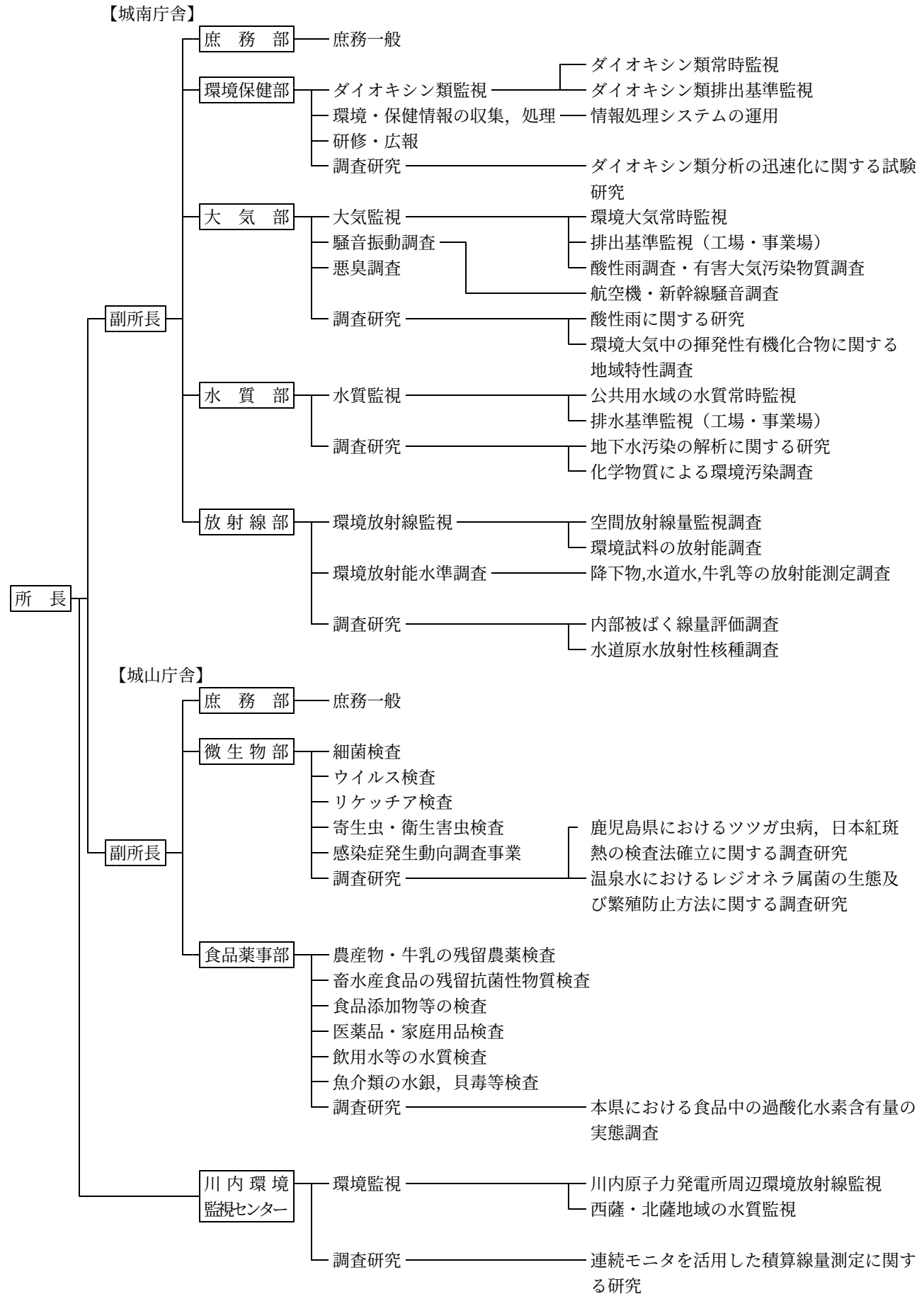


14 その他

14- (1) 環境保健センター組織



14－（2）調査・試験研究の概要

環境保健行政の円滑な推進を支援する目的で、国及び他自治体の研究機関とも連携して調査研究に取り組んでいます。これらの結果は、所報にまとめるほか、学会での発表等も行っています。

① ダイオキシン類分析の迅速化に関する試験研究（環境保健部）

廃棄物の不法投棄や排出基準超過などの緊急かつ突発的な事態に対応できる分析体制を整えるため、迅速かつ簡便なダイオキシン類分析手法を確立する調査研究を行っています。

② 酸性雨に関する研究（大気部）

本県における酸性雨の実態を把握するため、降水成分調査を行うとともに、発生のメカニズムなどについて調査研究を行っています。

③ 環境大気中の揮発性有機化合物に関する地域特性調査（大気部）

トリクロロエチレン、ベンゼンなどの揮発性有機化合物の地域特性を明らかにするため、環境大気中の揮発性有機化合物濃度とP R T R法に基づく集計データとの関連性の調査を行っています。

④ 地下水汚染の解析に関する研究（水質部）

地下水汚染が認められる地域の地下水のイオン成分等の測定・解析を行い、土地利用や事業場の立地状況、地下水流動などと重ね合わせることで、地下水汚染の原因を推定する研究を行っています。

⑤ 化学物質による環境汚染に関する研究（水質部）

有害化学物質による環境汚染を未然に防止するためには、過去使用されたものも含めた化学物質の環境残留性の実態把握が必要であることから、水質・底質・生物のモニタリングや暴露量等の調査を行っています。

⑥ 内部被ばく線量評価調査（放射線部）

県民の内部被ばく線量の推定の基礎データを得るため、県産の主要農作物等について県下全域を対象にした「食品中放射能調査」を実施するとともに、川内原子力発電所周辺及び鹿児島市地域等を対象に、吸入等による被ばく線量を推定するため「環境中低レベル放射性核種調査」を行っています。

⑦ 水道原水放射性核種調査（放射線部）

平常時における県内の水道原水中の放射性核種濃度の分布、挙動、変動の要因について調査研究を行っています。

⑧ 連続モニタを活用した積算線量測定に関する研究（川内環境監視センター）

緊急時における人体の被ばく評価に必要となる積算線量について、より迅速な対応が実施できるようにするため、発電所周辺に設置している空間放射線測定局の連続モニタから積算線量を推定する手法の検討を行っています。

⑨ 鹿児島県におけるツツガ虫病、日本紅斑熱の検査法確立に関する調査研究（微生物部）

ツツガ虫病及び日本紅斑熱抗体価検査法等の改善を行い、早期診断・早期治療に役立つ検査法を確立する調査研究を行っています。

⑩ 温泉水におけるレジオネラ属菌の生態及び繁殖防止方法に関する調査研究（微生物部）

県内の温泉水におけるレジオネラ属菌の生態状況を把握し、その繁殖防止方法を検討することにより、温泉施設等の改善等に役立てるなど、レジオネラ感染症の発生防止方法の調査研究を行っています。

⑪ 本県における食品中の過酸化水素含有量の実態調査（食品薬事部）

国による食品中の過酸化水素含有量の実態調査の結果、産地間の含有量に差があることから、本県産の食品中の過酸化水素含有量を調査し、併せて国のデータと比較検討する調査研究を行っています。

